

ながはま



市

議

会

だより

Vol.2

平成18年7月15日発行
発行:長浜市議会
編集:議会だより編集委員会

袋がけ作業の始まった観光ぶどう園

平成18年度本格予算決まる	2
個人質問の内容	3～7
議案等審議結果	8
編集後記	8

新市として初めての本格予算
各常任委員会で慎重審議

一般会計予算の「おもな使い道」

暮らしと安全安心のまちづくり

- 地域防災計画（地震、洪水ハザードマップを含む）の策定
- 防災行政無線を市内全域に放送で送るようにする事業
- 災害情報等を市民個人の携帯電話にメール配信する事業
- 教育施設や社会体育施設の耐震診断をする事業
- 市道新三田大路線に消融雪設備を整備する事業
- 岡谷地区の急傾斜地崩壊対策事業
- 十一川排水区等の雨水渠整備事業

福祉・健康の充実した 生涯現役健康都市づくり

- 幼児のインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業
- 特定不妊治療に要する費用の一部を助成する事業
- 出産育児一時金を出生児1人につき30万円から35万円に引き上げる
- 身体・知的・精神・児童のしよがい福祉施策、サービス整備などの計画を策定
- (仮称)びわ幼稚園の園舎建設事業
- 湯田小学校改築関連の整備事業
- 旧浅井、びわ地区の小学校への週1時間程度英語教育



2400万円

4700万円

69万円

6170万円

7300万円

2250万円

7200万円

200万円

100万円

455万円

541万円

6億4600万円

1億0876万円

活力あふれるまちづくり

- 長浜バイオ大学大学院の開設に対する資金の貸し付け
- バイオ関連産業の創出、新商品開発の補助及び事業資金の融資
- 竹生東地区等の老朽水路等の改修を行う事業
- 南部、姉川左岸土地改良のかがい排水施設の揚水機、分水工施設を更新する事業
- 「ちはら地区」の流域内の水質保全のための施設を設置
- 長浜駅舎改築記念事業
- 都市計画区域の再編、道路の見直し
- 長浜港湾を整備する事業

公平・公正な市民主役のまちづくり

- 地域特性を生かしたまちづくりシンポジウムの開催
- 新市が目指すべき都市像を(仮称)ながはままち創造プランとして策定
- 行政改革プランを策定し、その中で改革の方針、目標を明らかにする事業



1億7250万円

5000万円

9854万円

3900万円

2180万円

400万円

2700万円

1400万円

120万円

556万円

4500万円



個人質問

個人質問の主な内容と答弁内容

押谷 茂副議員

人件費から見た行財政改革

問 時間外勤務の多いことは、職員人件費ばかりでなく、職員の健康面でも憂慮すべきこと。効率的な行政制度のため、業務の内容・やり方等把握し、人材育成が必要と考えるが如何か。

答 時間外勤務については、例年の出納整理事務に加え、本格予算の編成や合併による事務事業の一元化作業などが絡み合ったことによるもの。削減化に向けて現在「一課一改善」「職員提案」の実施など全庁的に取り組んでいます。事務局に所属する形で、内部管理部門の組織のあり方を改めて検討していきます。さらに、「本年度人材育成基本方針」を策定し、職員能力が発揮できるシステム構築を行い、真に市民から信頼される職員育成に努めていきます。

木村 三千雄議員

子育て環境について

問 自宅近くにある児童遊園地が親と子のふれあいの場として有効な場と考えるが市の考えを問う。

答 親と子が遊具と一緒に遊んだり、土や緑とふれあうことがあって、家庭で子育てを行う場として有効であり、整備・充実を図っていきます。

問 老朽化し、危険な遊具の修理や買い替え、砂場の砂の入れ替えについて問う。

答 自治会管理の児童遊園地は、遊具の更新や修理に費用の三分の二、限度額十五万円の補助をしています。バス通園に向けた取り組みについて

問 各幼稚園で、保護者も交えて、子どもの安全確保を話し合ったとのことだが、通園方法などの方針について問う。

答 個別送迎が保護者にとって最も安心できる方法となりましたが、各園や地域の事情が異なるため各保護

三田 俊雄議員

新市のあるを担う幼児児童生徒育成のための地域ぐるみの取り組みについて

問 子ども自身が、学ぶこととする心、慈しむ心、耐える心をも身につけようとする力をつけるため、歌碑のあるまちづくり「教育モデル事業」の推進について問う。

答 美しい日本誌の書きや、繊細な表現に日々接して、感性を磨くことは大変大切なこと。推進は、グローバルな視点からも大いに意義があります。市民の皆様のご意見を聞き、先発的な取組を調査し早速取り組みます。

林 多恵子議員

子どもの安全対策に全力を

問 子どもの目線で安全を確認、児童だけでなく中高生の通学も加え、地域の実情に併せた安全対策について問う。

答 通学路の安全対策については、十五年度から、五力年整備改善計画を策定しました。整備、改善計画や自治会からの要望に基づき

阪東 民男議員

教育長の教育理念について

問 教育者としての教育観・教育理念・教育にかける情熱について問う。

答 生き方を教える「命の教育」、心を育てる「道徳教育」、気高く強く生き抜く「学力向上」を柱とし三歳児から中学三年生まで十二年間の見通しを持った教育に邁進したいと考えています。

子育て支援について

問 インフルエンザ予防接種の経済的支援は今議会に計上されたが、少子化が進む中、更なる支援策を講じることについて問う。

答 幼稚園や保育園の保育料の保護者負担軽減実施、放課後児童クラブの開設、児童館の建設に対する支援を行っています。

食育推進基本法の推進について

問 食育推進基本法の推進計画について本市は推進計画を作成・実施する考えがあるのかを問う。

答 毎月「食育の日」を設定し創意工夫した年間実施計画を作成し取り組みを進めています。学校、家庭、地域が連携して食の大切さ、食に関する感謝の気持ちを育てることが出来るよう考えています。



問 使いやすい出産育児一時金受領委任制度について問う。

答 請求があった場合、受領委任の方法を紹介し、一時金が早期に支払われるよう検討します。

北田 康隆 議員

地域の特性を活かしたまちづくり

地域審議会に代わる「地域を考える会(仮称)」の設置について問う。

地域独自のコミュニティの設置をめざし、それぞれの地域の特性、財産をうまく活用した新たな地域づくりのため、公民館単位での組織を立ち上げていきます。

市政モニター制度を導入してはどうかを問う。

八万市民が市政モニターであるという観点から

ブリックコメント制度の導入やＩＴを利用した広報活動の充実に努めます。

市が発送する郵便物の経費削減はできないか

市が発送する郵便物の経費削減について問う。

一年間で市が発送する郵便物は約八十五万通であり、金額にして六千六百万円です。バーコード付郵便制度及び郵便区内特別郵便の適用を受けると共に、FAXや電子メールの活用等により経費の削減に取り組みます。

杉中 美智男 議員

都市計画区域の見直しと都市計画マスタープランの策定について

都市計画区域の再編、望ましい新市像と均衡のとれたまちづくりについて問う。

本市は合併により二つの都市計画区域を有し、線引、非線引都市計画区域が混在する状況で、現状のままでは均衡のとれた地域振興を図ることが困難です。基本的に区域再編に向けた協議手続きが必要であり、再編に当たり旧びわ町マスタープランの土地利用方針の「線引廃止」を尊重し、

取り組めます。

農業施策と農振地域の衰退について問う。

現都市計画制度の市街化区域におきましては、農業者以外の土地利用は厳しい状況であり、今年度からの県の都市計画区域見直しの作業の中で、旧びわ町のマスタープランを尊重した土地利用の導入に努めてまいります。

防災センター、支所機能を含めた複合施設の建設を求める。

防災機能の整備は必要であり、施設建設は今後の財政状況を見極め市民一

馬淵 義男 議員

東北部流域下水道の整備の早期着手について

現在の農業集落排水処理施設では、処理能力に限界があり今後の開発に支障を来す。合併によって大きな推進母体とな

った新市では強力に推進する考えがあるのか問う。

新市におきましても、公共下水道への早期接続に関係機関へ更に強く働きかけていきます。

地震調査研究推進本部が公表したマキノ町から大津市に至る活断層で、マグニチュード七・八程度の地震が今後二十年以内に発生確率〇・〇九から九パーセントという公表がされている。行政は



ズへの対応を視野に入れ、再編や用途変更、複合化といった既存施設の活用も含めた総合的な検討が必要と考えております。

押谷 彦義 議員

英語教育推進事業について

旧浅井、びわ地区の小学校で英語授業を二期より週一時間程度実施し、旧長浜の水準に足並みを揃えることが平等・公平な行政の本道ではないかを問う。

旧長浜地区と両地区のこれまでの実施状況の違いや年度途中における教育課程の変更の難しさから二期より移行措置

武田 了久 議員

旧長浜市北線道以東の地域振興施策について

ケーブルテレビのエリア拡大について問う。

ケーブルテレビもきめ細かな情報通信基盤の整備について、今後の情報技術を見極めながら、地域振興の視点から、検討をおこないます。

県道大野木志賀谷長浜線の拡幅改修について問う。

市にとっても重要な道路であり、国や県に対し改善の要望を進めていき、遊歩道整備やアクシオンプログラムに盛り込まれるよう、期成同盟会の働きかけに対し、積極的に支援して

として実施し、十九年度から足並みを揃え実施します。

林業・林業振興について

林業後継者育成のための施策また、びわに森林づくり基金条例の施行に伴い森林整備を目的とした県民税を市ではどのような計画で活用するのかわかる。

事業を活用するための森林組合や山を所有の方々、そして森林を守るためのボランティア団体、林業グループと相談しながら取り組んでいきます。

森林振興を地道に活動展開しているボランティア団体への支援を期待するが行政の所見を問う。

活動内容を適正に評価させていただき、引き続き支援をさせていただきます。



西橋 榮次郎 議員

行政改革について

①組織・機構改革の職員改革②財政の改革③事務事業の改革について問う。

答 本市の行政改革については、現在、役所内に行政改革推進本部を設け、「事務事業の再編・整理・廃止・統合」をはじめ、「民間委託等の推進」「定員管理の適正化」など、行政運営全般にわたる検討を進めています。

質問の③部、課の改廃、グループ制の導入④定員適正化計画、自己評価制度の導入⑤時間外勤務手当ての削減⑥事務事業評価制度の導入などの指摘、提言については、この十二月に公表予定の、行政改革大綱および集中改革プランを策定する中で、「機動的・弾力的な行政運営と職員の高効率化」「意思決定と事務処理の迅速化」「目的指向型行政運営の転換」「職員の自立性の発揮」などの観点から十分検討し、制度の導入、事務事業の見直しをしていきます。

秋野 久子 議員

子育て支援について

問 子どもの医療費無料化について、対象を義務教育修了までに拡大することを求めている。

答 限られた財源の中で、親のニーズを把握し、包括的に検討していきます。

問 市立長浜病院内保育などと連携を図り、病後児保育枠の拡大を図る。

答 定員一人の予定であり、状況をみながら検討

学童保育、長期休暇の

問 学童保育、長期休暇の四年生以上の児童の受け入れについて問う。

答 施設や指導員の確保ができて、開設は困難な状態です。引き続き検討します。

問 障害者自立支援法導入後、利用者負担の重さから施設退所や利用制限が増えています。市独自の軽減策について問う。

国県の動向や県内の状況

問 国県の動向や県内の状況をみて検討します。

答 合併後のびわ湖地区の環境について

問 生活保護者の受給が窓口払いとなり、高齢者などが困っています。今までの窓口の口座振替の実施について問う。

答 窓口払いは安否確認の一助となっておりますが、被保護世帯の状況や意向を踏まえ、双方を比較検討します。

伊藤 昇太郎 議員

主要道路、木之本・長浜線

問 木之本・長浜線架橋工事促進について

答 工事促進について問う。

問 今年度、詳細設計に着手され、ほぼ全員の方と交渉が成立しており、残りの方とも順次交渉を進めています。県では厳しい財政の中で進捗が遅れておりますが、早期着工に向けはたらきかけます。

竹生島について

問 竹生島の位置付け、カワフ列島、植生復元について問う。

答 竹生島は、国宝等数々の文化財があり、自然を活かした広域観光とともに、観光資源として体験滞在型観光に積極的に取り組んでいきます。また、カワフ被害は、島の五分の四の森林にも及び、今年度は直接に県への対策に切り替えるなどの対応を図っています。

問 植生復元事業は十三年度までの三年間で五ヘクタールに一万五千本の植樹をいたしました。成果は植樹した樹木が生育し、新たな森林が形成され、他の駆除対策事業と併せて実施することができれば効果が期待できると考えます。十八年度も県や市の実施する駆除事業等と併せ、実施、補植していきます。

北川 薫 議員

大井川、鬼川の氾濫対策について

問 大井川、鬼川の増水の為、浸水(床下、田畑)しており、整備の着工時期について問う。

答 長浜新川右支線へのシフトカット(第二天井川計画)は、国県の事業採択への調査を実施。関係自治会、地権者に説明会を実施することにも、本線ルート関係自治会の理解を得るために、協議を行っています。

問 現状の入札方法と落札率について

答 十七年度入札による超高落札率(99.9%)の要因を調査し、

山口 忠義 議員

安全安心のまちづくりについて

問 神照幼稚園の主幹級職員が減ったが、管理体制に問題はないのかを問う。

答 主幹級職員は減りましたが、経験豊かな教諭、養護教諭を配置して健康管理心のケアにあたっています。

問 耐震能力のない市役所、学校、公民館の改修計画について問う。

答 今後の都市形成の方向性など総合的に検討を進めます。神照公民館、神照小学校体育館などそれぞれの対象と進めています。

行政改革について

問 合併による空きスペース、重複施設の有効利用について問う。

答 公共団体への賃貸や地域団体コミュニティセンターなど、行政改革推進本部に「公営施設見直し部会」を設け検討を進めます。

問 滞在型観光の推進、竹生島の観光活用について問う。

答 観光資源の有機的な組み合わせを進めます。竹生島を宿泊、滞在型観光の核としていきます。



西尾孝之議員

幼稚園児殺害事件後、教育委員会の体制について

問 二月におきた事件において、教育委員会は、保護者さんの言葉に十分耳を傾けられなかったのではないかと問う。

答 二月におきた事件において、心の訴えを感じ、一緒に悩むことができなかったことに反省をしています。教育委員会として、相手の命、苦しみ、悲しみに真っ正面から受け止められる教員、命の語れる教員の育成に努めてまいります。

問 厳しい財政状況の中、安全安心のできる教育環境の整備について問う。

答 保育園、幼稚園、小学校における安全確保等、子ども命に関係することには、どんなことでもしていかなければならないと、覚悟を決めています。



福永利平議員

教育問題について

問 市の基本方針について問う。

答 新長浜の人づくりを主眼に五つの目標に取り組みます。

問 英語教育について問う。

答 浅井、びわ湖地区の小規模校にも格差が生じないよう指導方法、人的配慮をします。

問 情緒教育について問う。

答 図工、音楽等の芸術教育は重要な役割を担っていると考え、しっかりと取り組めます。

介護保険制度の改正について

問 現状と課題点について問う。

答 要介護状態の区分が七段階になり対応できる支援体制づくりに努めます。

問 ケアマネージャーの確保とその指導について問う。

答 対応可能で指導も充実します。

問 今後の見通しと課題について問う。

答 認定者の数は増加の予測がされるが介護予防を推進します。

竹内達夫議員

湖北農業会館取得の白紙及び長浜駅構内計画の一部中止について

問 湖北農業会館取得は、新駅改築と同時進行の中で計画すべきではないかと問う。

答 厳しい財政環境の現状において、過大な投資であるとの市民意見もあり、検討した結果中止となりました。

住居用防災設備の設置について

問 新築住宅への指導について問う。

答 消防本部と連携し指導します。

問 既存住宅への指導について問う。

答 条例により五年後の全戸設置を指導、啓発に努力します。

問 行政支援について問う。

答 災害弱者に対し公助はどうかあるべきか検討します。

をおかけしたと考えておりますが、今後の政策展開の中で理解いただけると思っております。

問 神照公民館及び神照小学校の改築について

問 老朽化と大所帯の神照公民館の改築と神照小学校体育館の早期改築について問う。

答 神照公民館を移転改築し、その跡地を利用して小学校体育館を改築するのが適当と考えており、財政面を含め関係部局、地域の皆様と協議してまいります。

観音坂トンネル改修について

問 観音坂トンネルの改修取り組みの進捗状況について問う。

答 昨年の十二月に観音坂トンネルの両側にトンネルを掘るルートが決定され、平成二十年度から用地測量と買収にかかり、地権者の協力が得られれば、平成二十二年から工事着手できる見込みです。

西木昭允議員

少子化対策と活力あるまちづくりについて

問 県道小室・大路線の予算規模からいくと、着工から十年はかかると聞くがどうなっているのかを問う。

答 主要生活幹線道路であり、合併に伴う中心地へのアクセス道路で、田根地区の活性化対策として非常に重要な路線とし、事業の進捗と早期完成に向けて要望します。

特産品等地域資源を活かした活性化対策について

問 地域の気候、風土に適した特産品づくりを行い、積極的に意欲ある農業者を育成する。

答 田根駅を中心とする市の南部地域では、現在、地元の人々と連携して「長浜・近江まんなか夢のまちづくり会議」を組織され、地域自らまちづくり計画づくりに動き出されておられることは、市民主導のまちづくりを標榜する行政としては高く評価し、今後、その実現化にパートナーとして協力、連携しながら、長期的な視点に立って、計画的な都市づくりに努力してまいります。

成、支援してまいります。

問 住民参画の行政は、どのように構築するのかを問う。

答 地域のマスタープランを地域の人が自らつくり実践する仕組みづくりをしていきます。

問 公的施設の有効利用について問う。

答 行政改革推進本部専門部会から総務課別表で、補助金の交付をどのようにするかを問う。

問 新たな制度改正により、二十四時間三百六十五日安心を提供するサービスとして、地域密着型サービスで対応します。

茂森伍朗議員

いみじ卸却施設の建設について

問 本年四月、福岡地域において焼却炉入れ撤去をめぐる訴訟で五社に対して二十億円の出発命令が下され

都市計画の意義について

問 地方拠点法による商長浜新都市地区の整備促進について問う。

答 福岡市の主張を違法と判断したことを重く受け止め、湖北広域行政事務センターに、賠償請求に向けた十分な調査と解決のための取り組みを求めていきます。

中川 幸一 議員

景観計画策定について

景観策定の内容はどのようなものかを問う。

良好な市の景観形成と維持のために、区域を定め、基本方針や制限行等を、景観法に基づき、定めようとするものです。

早期内閣府再生について

市の期待する再生計画構想はあるのかを問う。

景観計画策定は、景観法に基づき、定めようとするものです。景観法に基づき、定めようとするものです。

大橋 正治 議員

地元企業の育成について

設計と監理の分離発注で、設計偽装のチェックと共に、地元企業の育成について問う。

基本的に監理は、直轄（市職員）で行う。例外的に設計を監理と同じ業者に委託しても、職員が再チェックをしている。今後、積極的な分離発注して、地元業者の育成機会を増加します。

交通安全対策について

浅井高原町を通る国道の交通安全対策について問う。

交通安全の増加が予想される。

一丁を活用した入札情報の公開について

入札や見積りの参加者への、情報提供や結果の公表等に一丁の利用はあるかを問う。

電話やFAXで一斉通知し、問い合わせにも回答しておりますが、今後の電子化等による、事務改善上の検討課題と考えます。

介護保険について

介護保険の低所得者対策について。

高額介護サービスがあるというが、限度額を超えた分は、自己負担になるかどうか。

保険料が払えない人は、サービスが受けられないのが、

①新第一段階ができ一七〇〇人が軽減されました。②一回六五〇円で一〇〇円の負担増（助成なし）

③個別に相談に応じて対応します。

福岡 一夫 議員

長浜駅周辺整備計画について

長浜駅周辺整備計画の見直しについて、駐車場確保や駅西口周辺の景観及び周辺住民の理解を得ることができるとかを問う。

機能分担や民間との役割分担及び利用者ニーズなどを検討し、駐車場対策を講じていき、景観に関しては、条例の制定も視野に入られて検討していきます。

長浜駅周辺整備計画の見直し案のうち駅西口アクセス道路整備計画の中止について

ながはままち創造プランを策定するにあたり達成すべき目標を明確化、公表すべきことを問う。

ながはままち創造プラン策定作業の中で、社会情勢等の変化にも対応した適切な指標の導入、運用の仕組みづくりを検討していきます。

入札制度改革による「コスト削減」について

指名競争入札から条件付一般競争入札への切り替え、市ホームページに入札物件情報の掲載、電子入札システムの導入等について

提案もきめ、公正で透明性の確保された入札制度の改善に向け検討していきます。

地域で生まれ育った伝統文化を守り育てるための条例制定について問う。

文化芸術を担う人材の育成、環境の整備、充実をきめた基本方針を早急にまとめたいと思います。

点から市民の意見を尊重し、検討したもので、必要性の高い都市施設の整備について、平成二十一年度を目標に取り組みます。

アクセ道路を中止する弊害について問う。

地権者の方や国庫の関係者には今後、格別の理解と協力をいただけるよう誠意を持って対応いたします。

三十年先を見据えた事業かを問う。

「三位一体改革」に伴

小林 剛 議員

高齡者福祉事業の改編案

はり・灸・あんま等の助成金の配布が今年度から支所に申請するよう変った。個人情報流出防止の趣旨と関が、過剰反応であり、行動範囲の狭い老人を急須におき、自宅近くの公民館で、受領可能にしてはどうかを問う。

個人情報の問題もさることながら、必要なサービスを提供する観点から、個人給付が妥当と考え、旧長浜の申請主義に統一しました。しかし、指摘された点も考慮し、旧浅井、旧びわ地域について、公民館等の身近な施設で交付出来る様、検討しており、実施可能と考えられています。

市内には多くの未活用施設用地があるが、合併を機に、整理、統合してはどうかを問う。

設置した当時の目的や意義が、その後の社会経済情勢の変化に伴い、希薄化していることや、今回の合併により、その利用態や機能等が、重複することとなったことで、十分活用されていないことなど、多くの課題があると認識しています。このことから現在、市長を本部長とする行政改革推進本部を設置し、更に公共施設を見直す部会を編成、鋭意検討をしていきたいと考えています。

い、今まで以上に健全な財政運営が必要であり、社会経済状況の変化に的確に対応し、将来の展望を切り拓いていくため、行政と市民が一体となって新たなまちづくりを段階的に取り組む必要があると考えます。

駅西口バス駐車場を作る必要性とアクセス道路整備計画中止との整合性について問う。

今回、見直し等の結果設置しないことになりました。



一般質問の録音映像についてはインターネットで見ることが出来ます。長浜市のホームページからアクセス出来ます。

<http://www.aficassvisionary/nagahamas/index.html>

第二回定例会（八月）

議案

第六十五号	専決処分事項の承認を求めるとして	承認（多数）	第九十号	長浜市粉塵例の一部改正について	可決（多数）
第六十六号	平成十八年度長浜市一般会計補正予算（第一号）	可決（多数）	第九十一号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全員）
第六十七号	平成十八年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）	可決（多数）	第九十二号	長浜市非常勤消防員退職給付金の支給に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第六十八号	平成十八年度長浜市診療所特別会計補正予算（第一号）	可決（全員）	第九十三号	長浜市市民文化ホール条例の一部改正について	可決（全員）
第六十九号	平成十八年度長浜市老人保健特別会計補正予算（第一号）	可決（全員）	第九十四号	長浜市児童文化施設条例の一部改正について	可決（多数）
第七十号	平成十八年度長浜市介護保険特別会計補正予算（第一号）	可決（全員）	第九十五号	湖北地域しょうがい者自立支援推進基金の共同設置について	可決（全員）
第七十一号	平成十八年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第二号）	可決（全員）	第九十六号	北陸自動車道における緊急業務に係る関係関連事務の委託について	可決（全員）
第七十二号	平成十八年度長浜市浅井衛生下水道事業特別会計補正予算（第二号）	可決（全員）	第九十七号	滋賀県自治会館管理組合規約の変更について	可決（全員）
第七十三号	平成十八年度長浜市びわ湖水道事業特別会計補正予算（第二号）	可決（全員）	第九十八号	滋賀県市町村職員研修センター規約の変更について	可決（全員）
第七十四号	平成十八年度長浜市市民会館特別会計補正予算（第二号）	可決（全員）	第九十九号	滋賀県市町村交通連携推進協議会の設置について	可決（全員）
第七十五号	平成十八年度長浜市しょうがい者自立支援推進基金共同設置特別会計予算	可決（多数）	第一百号	財産の譲渡について	可決（全員）
第七十六号	平成十七年度びわ湖水道事業会計決算の認定及び利益の処分について（合併前）	認定（全員）	第一百一号	助役の選任について	同意（全員）
第七十七号	平成十七年度長浜市病院事業会計決算の認定及び利益の処分について（合併前）	認定（多数）	第一百二号	平成十八年度長浜市一般会計補正予算（第二号）	可決（全員）
第七十八号	平成十七年度長浜市びわ湖水道事業会計決算の認定及び利益の処分について（合併後）	認定（全員）	第一百三号	長浜市収入役の事務の兼掌に関する条例の制定について	可決（全員）
第七十九号	平成十七年度長浜市病院事業会計決算の認定及び利益の処分について（合併後）	認定（多数）			
第八十号	長浜市総合計画審議会条例の制定について	可決（多数）	第二号	郵政民営化前は内典で五十二の郵便郵便物のうち十一、民営化後は二十前後の郵便業務停止を中止し、集配業務の存続を求める請願書	撤回了承（多数）
第八十一号	長浜市国民健康保険条例の制定について	可決（多数）	第三号	介護保険制度の改善を求める請願書	撤回了承（多数）
第八十二号	長浜市国民健康保険本部及び緊急対応事務対策本部条例の制定について	可決（多数）	第四号	医療制度の改善を求める請願書	撤回了承（多数）
第八十三号	長浜市災害派遣手当て及び長浜市武力攻撃被害高等派遣手当の支給に関する条例の制定について	可決（多数）	第五号	障害者自立支援法の利用者負担の軽減等に関する請願書	撤回了承（多数）
第八十四号	長浜市文化芸術振興基金条例の制定について	可決（多数）	第六号	「パートタイム労働者・有期契約労働者の適正な労働条件の整備及び均等待遇実現」を求める請願書	撤回了承（多数）
第八十五号	長浜市財産区管理会条例の制定について	可決（多数）	第七号	「福祉資金の引き上げ」を求める請願書	撤回了承（多数）
第八十六号	長浜市行政手続条例の一部改正について	可決（多数）	第八号	「食品価格の経営安定対策」にかかわる請願	不採択（多数）
第八十七号	長浜市議会の議員その他の非常勤の議員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決（多数）	第九号	教育基本法の「改正」を慎重に審議するよう求めることについて	継続審査（多数）
第八十八号	長浜市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（多数）			
第八十九号	長浜市特別会計条例の一部改正について	可決（多数）			

意見書案

第三号	長浜労働基準監督署の存続を求める意見書	可決（全員）
第四号	朝霧坂トンネルの早期改修を求める意見書	可決（全員）

編集後記

今議会におきましては、四点の重要分野を踏まえた平成十八年度の政策的・投資的経費にかかる予算をはじめ、助役の選任同意、請願・意見書など審議いたしました。合併から五カ月余り、在任特例により新市議会議員として就任し、一回の臨時会、二回の定例会を終え、今月末をもって任期満了を迎えることとなりました。

旧の市町から新市発足に向けて、さらには新市基盤づくりに一生涯懸命努力してまいりましたが、

終わりになりましたが、「ながはま市議会だより」をご覧いただき誠にありがとうございます。厚くお礼申しあげます。

時節柄、お体ご自愛いただきませうようお願い申し上げます。

編集委員

- 川崎 宗夫
- 北田 康隆
- 秋野 久子
- 北川 善清
- 坂本 重光
- 杉中美智男

